釜石市観光来訪調査2024年秋期

Copyright © Kamaishi DMC Ltd. All Rights Reserved.

１－１．入込客数と宿泊者数【速報】

延べ入込客数（名）

宿泊者数（名）

延べ入込数：2024年度は、2023年度より▲27,000名見込
宿泊者数：2024年度は、2023年度より▲10,000名見込

※2024年度の1月～3月は、4月～12月の前年比を掛けた予測値

１－２．インバウンド宿泊者数

コロナ禍後、インバウンド来訪者は増加傾向であり、今年度も前年度より大幅に増加している。

2024年度（4月～12月まで）のエリア別インバウンド宿泊者数のうち、欧米豪は15%

※2024年度は、4月～12月までの実数

2．調査概要

調査対象	釜石市内外からの訪問者
調査場所	・魚河岸テラス ・いのちをつなぐ未来館 ・根浜キャンプ場 ・橋野鉄鉱山インフォメーションセンター ・旧釜石鉱山事務所 ・シープラザ釜石 ・鉄の歴史館
調査日	2024年10月5日～11月30日
回収数	200サンプル
調査手法	調査票配布による自記式調査
比較対象	2022年10月8日～12月31日 134サンプル
	2023年10月6日～12月3日 204サンプル

＜調査票＞

2－1．出発地

✓ 東北エリアからの来訪が最多
✓ 岩手県内からの来訪は、半数が県央エリアから

エリア別来訪

岩手県内からの来訪

2－2．年代/同行者

✓ 50代・60代の家族の来訪が多い

年代

同行者

２－３．釜石に宿泊する理由

✓ 「地元食材を使った食事」を楽しみに宿泊する来訪者が最も多い

（宿泊回答者144名のうち、各項目に対する回答者数（複数回答））

2－4．リピート率

✓ 初来訪者・リピーターの割合が約半々
✓ 来訪回数が5回以上のハードリピーターが増加

初来訪者の割合
- 2022年：44%
- 2023年：45%
- 2024年：46%

ハードリピーターの割合
- 2022年：33%
- 2023年：32%
- 2024年：34%

2－5．来訪のきっかけ

✓ インターネットによる来訪が最多
✓ SNSをきっかけとした来訪が増加

インターネットの割合
- 2022年：20%
- 2023年：25%
- 2024年：21%

SNSの割合
- 2022年：5%
- 2023年：9%
- 2024年：11%

２－６．経由地

✓ 来訪者の約50%が、岩手県内陸を経由して来訪
✓ 来訪者の約40%が、釜石来訪後に内陸へ

釜石までの経由地

釜石からの立寄地

２－７．来訪の交通手段

✓ 来訪者の約75%が「自家用車」で来訪
✓ 鉄道の利用は前年度と同様

JR釜石線、三陸鉄道の利用割合
・2023年：7%
・2024年：7%

2－8．来訪の目当て

✓ 「海」、「海産物」を目当てにした来訪が多い
✓ 「街並み」を目的とした来訪も前年度同様多い

食べ物・地域特産	回答数
海産物	88
釜石ラーメン	60
浜千鳥	17
甲子柿	14
ジェラート	18

自然景観	回答数
海	109
山	36
根浜海岸	36
千畳敷	3
みちのく潮風トレイル	3
五葉山	2

観光名所・寺社等	回答数
橋野鉄鉱山	7
釜石大観音	19
鉄の歴史館	16
ミッフィーカフェ	21
うのスタ	5
三陸鉄道	23
魚河岸テラス	49
うのすまいトモス	7
根浜キャンプ場	45

その他	回答数
街並み	35
体験プログラム	3
イベント	7
この他	5

２－９．再来訪意欲度/来訪満足度

✓ 「再訪したい」以上は80%を超え、高水準を維持
✓ 「満足している」以上も約90%

釜石への再来訪意欲度

来訪満足度

3．観光による経済効果分析

目的

観光による地域への経済的な影響を分析し、持続的に循環する地域経済の確立を目指す

手法

経済波及効果を分析するため、「**産業連関分析**」を実施
（分析ツール：環境省『地域経済循環分析』）

（出典：環境省地域経済循環分析）

手法

地域の特性を反映した分析を実施するため、
- **釜石市の産業連関表**（環境省「地域経済循環分析」）
- **釜石市観光来訪調査**（かまいしDMC実施）　を活用

東洋大学国際観光学部古屋教授の監修のもと、「観光消費額」の推定を実施。

（分析では、2023年度延べ観光入込客数・宿泊者数データ、2024年度消費額調査データを利用）

【分析ステップ】①市内観光消費額推定
②産業連関分析

観光振興

観光振興(観光客数の増加)の設定

以下の１～４を入力してください

1. 観光客の増加数を入力してください

観光客の増加数(人)	334,500	人

2. 支出金額(観光1回)の原単位を入力してください

支出内容	1人当たり支出金額(円/人・年) 日帰り客(円/人・回)	宿泊客(円/人・回)	域内調達割合(%)
コメ、野菜、肉などの農産品、畜産品のお土産(加工品を除く)	282	679	100.0
魚、えび、かに、いか、海藻などの水産品のお土産(加工品を除く)	282	679	100.0
肉や魚、乳製品などの加工食品、飲料などの飲食料品(加工品)のお土産(外食を除く)	282	679	22.3
キーホルダーなどの雑貨、民芸品	282	679	18.7
飲食、宿泊などの対個人サービス	3,157	12,519	44.4
温泉、遊園地、美術館、博物館等の娯楽サービス	51	201	22.3

3. 観光客のうち宿泊客の割合を入力してください

観光客のうち宿泊客の割合(%)	32.4	%

4. 複数年の効果を算出する場合は事業年数、割引率を入力してください

事業年数(年)	1	年
割引率(%)	4.0	%

前回設定値を入力　標準設定に戻す

3．観光による経済効果分析結果①

✓ 実観光入込客数は、対前年度比 1.1倍
✓ ひとりあたり消費額は、宿泊：1.2倍、日帰り：1.3倍

実観光入込客数（人）

ひとりあたり消費額（円）

※延べ入込客数を立寄数、宿泊人泊数を平均宿泊数で割り戻して算出

3．観光による経済効果分析結果②

✓ 市内観光消費額は、対前年度比 1.3倍
✓ 観光による経済効果は、対前年度比 1.28倍

市内観光消費額（億円）

観光による経済効果（億円）